



Contents...

- 2-3 光害ニュース
 - 3-5 光害防止マンガ
 - 6 満天の星空実現のために（マンガ要点）
 - 6-7 春の星空ガイド
 - 7 4月末がピーク「おとめ座流星群」
 - 7 4月26日「月と木星が接近」
 - 7 天体望遠鏡が必要です「火星接近！」
 - 8 星空を見る会のお知らせ
 - 8 編集後記
-

光害ニュース

ここでは、米田会長を中心に、奈良での光害防止への取り組みの足跡を紹介します。これまで奈良では、星空を守る会結成前になりますが、署名運動に取り組んだりして、奈良市に働きかけました。奈良市でも光害対策ライトが装着され始めています。下北山村のきなりの湯の駐車場も光害対策ライトでした。

照明が多ければ明るいのではなく、照明を無駄なく“本当に必要なところを明るくする“ことが結局、本当のエネルギーの節約になります。そのことは、環境省のガイドラインとして示されています。法的拘束力の有無にかかわらず、エネルギーの無駄を省き、夜空を照らしてしまっている無駄な光を減らし、時には、星空の美しさに目を向けたいですね。

Mon, 12 Feb 2001

2月10日、11日と米田会長と井上事務局長で、下北山のツチノコ共和国冬の旅に行き、野崎議員の計らいで、光害の話をすることができました。その時の光害MLでの報告です。

「2月10日から今日まで奈良県南部をうろうろしていました。主な目的は奈良県吉野郡下北山村の村おこしの行事、「ツチノコ共和国」の冬の旅という行事で、主催の方から、光害の説明+観望会の依頼があったためです。しし鍋など、大変暖かいおもてなしを頂きました。

1日目は午前中は学校だったため、途中参加となりました。1日目は観望会でしたが、天気中途半端で十分に楽しんでいただくことができませんでした。

2日目朝、小講演を行いました。30分少々行いました。皆さんは一生懸命に聞いてくださったので、分かっていただけとは思いますが、僕としてはあまり良い講演はできなかったように思います。言い訳をするときりがないので止めておきます。

終わった後には街路灯を担当されている地域振興課課長の方の積極的質問も頂き、手応えのあるものでした。（「このような悪質な街路灯を付け替えずに修正はできないのか」という内容）質問への正確な回答のため、明日、文書をお送りしようと思っています。

昼食を頂いた後、太陽がよく見えていましたので、昨夜のリベンジとして、太陽の観望会をしました。村でたった一人と思われるアマチュア天文家の方のご要望で太陽のフィルターも差し上げてきました。やはり、本当の星空で、いかに夜空が美しいか見ていただきたかったです。

光害に関する活動は1日目2日目を中心でした。講演依頼を頂いた議員の方の指示もあり、一部の駐車場などにフルカットオフのものが用いられ、また街路灯防犯灯の数を正確に把握されていて人口と比較して、鋭いご意見をお持ちでした。

自治体の方々がこれだけもの関心を寄せてくださったことは初めてです。また、大都市から遠く離れたところでの先進的行動には大変驚かされました。我々が住む、中・大都市が学ぶべき点は大変多くあります。熱心な方がいらっしゃるのでこの村での活動はこれからも何らかの活動で続けたいと思っています。」

Wed, 21 Feb 2001

「下北山村の件はひとまず終わりました。村の議員さんも村のみならず、県、奈良市への働き方もしてくださるとのことです。奈良県の方は3月末にお世話になっている市会議員より県会議員の方を

紹介して下さるとのことです。」

★「奈良の照明文化を考える」の第2版（ほとんど一緒です）が完成します。必要な方、お申し付けください。

Mon, 2 Apr 2001

奈良の光害について、少しでも改善されるように米田会長が、今度は県に働きかけることができました。光害MLに流した米田会長の報告です。

「たった今、奈良県庁から帰ってきました。奈良県庁舎は奈良公園にあり、景色が大変美しいです。今日は県の職員の方と初めての直接の対面を行ってきました。環境管理課の方です。議員の方も交え、30分間の対面でした。短いように思えますが、向こうもある程度資料を用意して見てくださったので、スムーズでした。

一連の害、中でも二酸化炭素、自然の話を挙げ、そして最後に「我々が不満を持っているのではない。今まで知られていなかった害なのだから仕方ない。ただ、わかった以上我々の将来のために取り組むべき」と締めくくっておきました。

環境管理課の方は、以前と同様、対策の必要を認めてくださいました。ただ、害があまりに多く、いろいろな部署にまたがることに難色をしめされました。

そこで、こちらからは「できる範囲で、例えば関係部署に照明装置設置に関する光害対策の指示、提案などをする」などを提案しておきました。

結果的には、「光害防止を大きく掲げることは無いが、これからの活動に光害対策を考慮しながら照明を行う」ということになりました。

僕はそれで良いと思っています。わざわざ光害防止の条例を定めなくても、これからガイドラインを意識しながら行動できるのならば、事態は少しずつながら、改善するでしょう。

奈良市も改善方向に向き始めました。

- ・ 初期投資の段階での良好な照明装置の選択
- ・ 民間への指示

が主な要望ですので、早急な改善は望めません。

ただ、どんな形であれ、取り組むと明言してくださいました。今後どうなるかは連絡して下さるとのことです。」

みなさん、調べませんか

奈良県下で、光害対策の照明がよく見られるようになってきました。みなさんの近くで探してみてください。今年1年かけて光害対策照明分布マップができるといいなと思います。

× 横から見てまぶしく感じる光は問題の照明

○ 光害対策の照明は、横から見てもあまりまぶしくなく、その下がとても明るいです。

光害防止マンガ

光害の防止を啓発するマンガです。とてもわかりやすいので是非広めてください。「ほしのねがい」（え 南斗遊星さん）

奈良星空を守る会では、いろんな光害の資料を集めています。他にも環境省のガイドライン、米田氏の作る「奈良の照明文化を考える」などがあります。

満天の星空実現のために

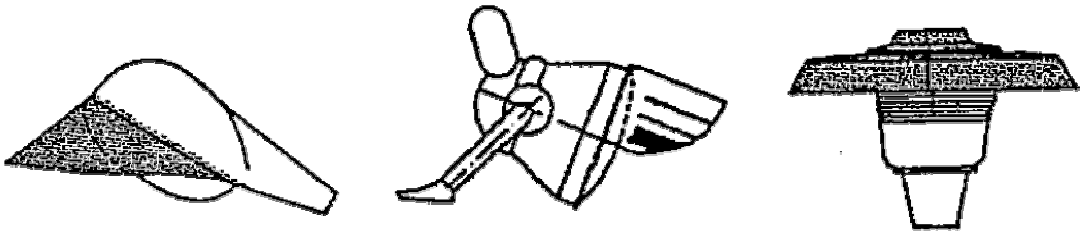
星たちが降ってきそうな満天の星空を見たことがありますか？天の川や流れ星を見たことがありますか？私たちみんなが、ちょっとした事に気をつけるだけで美しい星空を見ることができます。

第一に、必要の無い電灯は消して下さい。

星たちを見えにくくするだけではなく、エネルギーの無駄使いにもなります。必要な電灯以外は消しましょう。

第二に、部屋の光が外に漏れないようにしてください。

夜は、雨戸やブラインド、カーテンなどを閉めて部屋の光が外に漏れないようにしてください。



第三に、街灯にはカサをつけてください。

街灯などにはカサをつけて光が空に逃げないようにしてください。空を照らしても星が見え難くなるだけです。カサがついているほうがついていないものより、私たちが明るく照らします。

光の使い方しだいで、「街は明るく、空は暗く」することができます。皆さんご協力を。

春の星空ガイド

もう春、暖かくなり幾分深夜の星見も楽になりましたね。しかし、春の夜空には明るい星が少なく、数多く存在する銀河の光は何億年もかけて地球に届くような淡いものばかり、しかも春霞、ただでさえ見にくいものがさらに見えなくなってしまうます。

ご注意

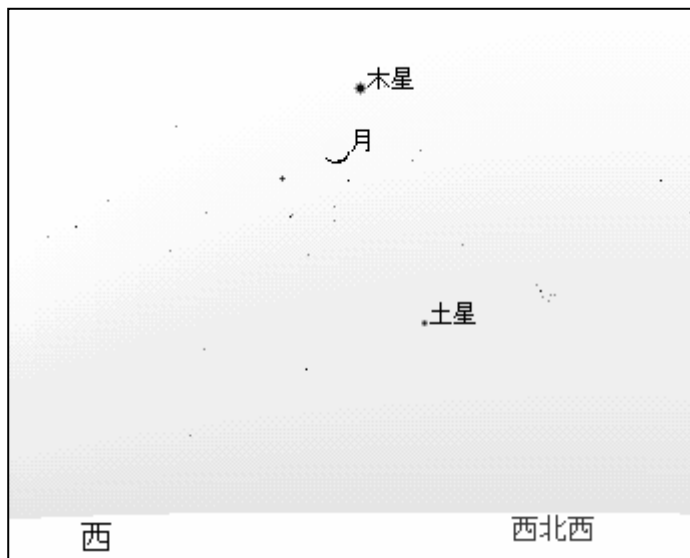
- * 今年から星図を掲載しないことになりました。星座早見版キットを配布します。その日 その時間に合わせた夜空を正確に表現できますので、ご利用ください。
- * 星座早見版では惑星を表現できないのでご注意ください。
- * 星雲星団に関しては昨年の第一号をご覧ください。星雲星団星座に関しては毎年同じように見えています。

4月末がピーク「おとめ座流星群」

1ヶ月間にわたって流星が見られるおとめ座流星群、26日がピークといわれていますが、はっきりとはわかっていません。しかも1時間に1個という少なさ、華やかさには欠けています。しかし、驚くほど明るいものが多いのです。特に月の出ていない夜は注意して空を見上げてみてください。

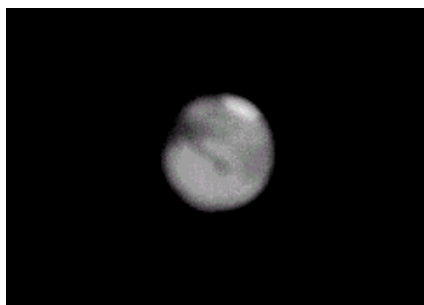
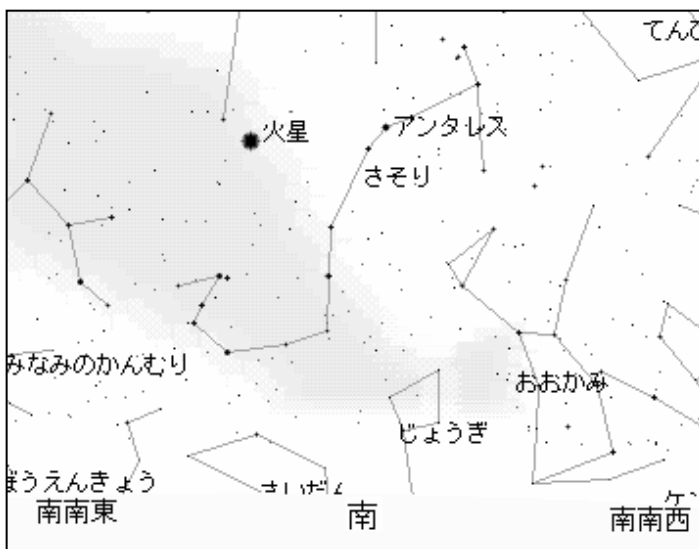
4月26日「月と木星が接近」

冬には空高く明るく輝いていた木星夕方の空に消えてゆこうとしています。土星も木星と同時期に消えてゆきます。そんな木星と土星の見納めになろうかという4月26日、夕方の西の空に三日月にも満たない細い月と木星が接近します。太陽が沈み青紫になった西の空にある月や月に近づいた星は大変美しいです。木星も非常に明るいので非常に見やすいです。機材など何もなくても見られる現象です。



天体望遠鏡が必要です「火星接近！」

地球のすぐ外で太陽の回りを回っている火星は近くはありますが、小さい天体なので普段は天体望遠鏡をいっても表面の様子を観察することは非常に困難です。しかし、2年2ヶ月ごとに起こる火星の接近の時には表面を観察することができます。その接近も距離によって3つに分けられますが、今回は3回に1回の大接近なのです。6月22日、その距離は6734万kmになります。さそり座でアンタレスを凌ぐほどの明るさになり、非常に目立ちます。



表面の様子を見るには天体望遠鏡が必要です。総会で製作しました天体望遠鏡には別売りの接眼レンズ（目に近づける方）と熟練した目が必要ですので、ご相談ください。

観望会のお知らせ

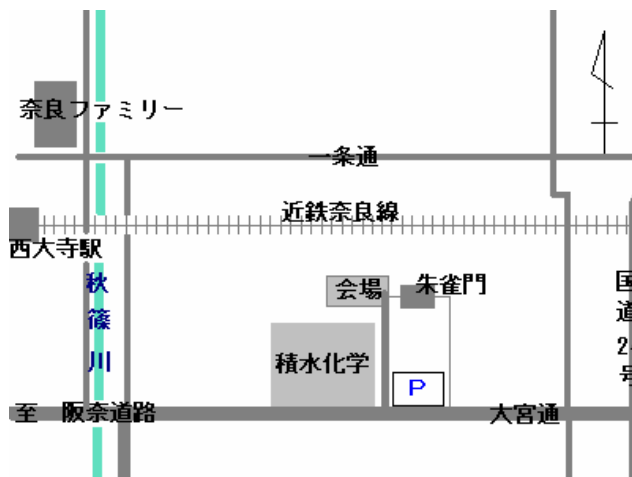
奈良星空を守る会主催の観望会を行います。今までの観望会でまともに晴れたことはありません。今度こそ晴れてほしいものです。月、二重星、明るい星雲星団などを観望する予定です。大型の天体望遠鏡も集合します。ぜひ、お越しください。

主催 奈良の星空を守る会
後援 光害防止委員会奈良支部
協力 ほしクラブM57

- とき 2001年4月28日(土) 18:30~
- 場所 平城宮跡朱雀門見学臨時駐車場広場
(朱雀門の前に駐車場があります。自家用車はそちらにお止めください。)

* 注意

・暗さ作りにご協力を！	安全のため、足元を照らすのはいいですが、星空を見る暗さが必要なため、ライトを必要以上につけないで下さい。
・安全は大人で気をつけてあげて！！	安全面で、けがの応急手当の用意はしますが、子ども連れの方はくれぐれも親の管理で気をつけて下さい。
・星の見えない曇天、雨天は中止します。係が18時まで現地で待機します。	



編集後記

発行等、時間がかかってしまい申し訳ありません。これまでMSNの編集にかなりの時間を費やしてきました。会長や広報部長の高校生のパワーで成り立っていましたが、今年は会長の米田君も大学受験。将来の天文学への夢を叶える大事な時期でもあり、会長にあまりエネルギーを注いでいただくわけにはいなくなりました。今年一年かけて運営方法も改善していきたいと思えます。

発行を年4回、ニュースはこれまでのような体裁ではお送りできませんが、光害防止の取り組み、星空情報を織り交ぜて紹介し、星空を見る会も年に2回はやっていきたいと思えます。 R i

MSN - More Stars in Nara

2001年4月1日発行 第5号

発行 奈良星空を守る会
 発行人 会長 米田 瑞生 (yoneji@hi-ho.ne.jp)
 編集人 広報 井上 龍一 藤井 薫和 (harimasa@mail-es.nara-edu.ac.jp)
 事務局 〒630-8528
 奈良市高畑町 奈良教育大学教育学部附属小学校気付
 事務局長 井上 龍一 (inoue@nara-edu.ac.jp)
 TEL 0742-27-9281 (呼出)

© 奈良星空を守る会 2001 本書の無断複写を禁じる